

ケアラー支援に向けた重点的取組の状況について

普及啓発ポスター (A2サイズ)



ケアする人を
ひとりにさせない
地域共生社会

「ケアラー」という言葉を聞いたことがありますか？
ケアラーとは、高齢、障害、疾病などの理由により援助を
必要とする家族、身近な人その他の者に対し、無償で介護、看護、
日常生活上の援助その他の援助を提供する人のことです。
ケアラーのうち18歳未満の人をヤングケアラーといいます。
ケアする人を孤立させないために、正しく援助することが大切です。

知ること、考えることから始めてみませんか？

令和5年4月 栃木県ケアラー支援条例施行

令和6年3月 栃木県ケアラー支援推進計画策定

全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく、
安心して生活することができる地域社会の実現を目指して

相模原市
一覧

● 栃木県ケアラー支援情報サイト「ともけあ」
市や区役所を訪問するかどうかのURLを照会入力
<https://tochicare.pref.tochigi.lg.jp>

気づき、支え合える社会へ

栃木県ケアラー支援

- ケアラー支援の重要性等について
県民、事業者、関係機関、支援
団体等が理解と関心を深め、地
域社会全体でケアラーを支える
気運が醸成されるよう広く配布し、
普及啓発を図ります。

印刷部数

約 7,800 枚

配布先

- 行政機関
- 福祉団体
- 教育機関
- 民間団体・民間企業
- 公共交通機関 など

ケアラー支援普及啓発事業

普及啓発リーフレット

(A4サイズ両面三つ折り)

- ケアラー支援の重要性等について県民、事業者、関係機関、支援団体等が理解と関心を深め、地域社会全体でケアラーを支える気運が醸成されるよう広く配布し、普及啓発を図ります。

令和5年4月1日施行

栃木県ケアラー支援条例

基本理念(第3条)

- ケアラー支援は、全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく安心して生活することができるよう行われなければならない。
- ケアラー支援は、ケアラーの意思を尊重するとともに、ケアラーの年齢、置かれている状況等に応じて適切に行われなければならない。
- ケアラー支援は、県、市町村、県民、事業者、関係機関、支援団体等の多様な主体が相互に連携を図りながら、ケアラーを社会全体で支えるよう行われなければならない。
- ケアラー支援は、ケアラーによる介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を受けている者に対する支援と一体的に行われなければならない。
- ヤングケアラーへの支援は、子どもの時期が個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立に生きる基礎を培う時期であることに鑑み、子どもの権利及び利益が最大限に尊重されるよう行われなければならない。

地域社会全体でケアラーを支えることが必要です。

ケアラー支援に関する取組や情報は、こちらのQRからご覧ください。



「ケアラー」とはこのような人たちです



障害のある子どもの子育てや障害のある人の介護をしている



介護不安を抱えながら高齢者が高齢者をケアしている



仕事と病気の子どもとの養育でほかにもできない



仕事を辞めてひとりでの生活の介護をしている



遠くに住む高齢の親が心配で頻りに通っている



目を離せない家族の見守りなどのケアをしている



アルコール・薬物依存や引きこもりなどの家族のケアをしている



障害や病気の家族の世話をいつもにかけている

「ヤングケアラー」とはこのような人たちです



障害や病気の家族に代わり親の役割・世話をしている



家族に代わり、幼い子どもを育てている



障害や病気の家族の世話をしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づきをしている



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている



家族を支えるために労働をして障害や病気の家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・認知・精神障害など慢性な病気の家族の看護をしている



障害や病気の家族の身の回りの世話をしている



障害や病気の家族の入院やトイレの介助をしている

「ケアラーとはあなたやあなたの身近な人のことなのかもしれません。」

「ケアラー」とは

高齢、障害、疾病などの理由により援助を必要とする家族、身近な人その他の者に対し、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する人のことです。

「ヤングケアラー」とは

ケアラーのうち18歳未満の人をヤングケアラーといいます。

誰もがケアする側・ケアされる側になる時代です。

ケアする人を孤立させないために、理解することから始めましょう。



「知る、考えることから始めてみませんか？」

ケアラー支援に関する主な相談先

高齢の親や父母、きょうだい、パートナーなどの介護やお世話を要する相談先

市町相談窓口
お住まいの地域を担当する市町の地域包括支援センター

障害を持つ親やきょうだい、パートナーなどの介護やお世話を要する相談先

市町相談窓口
お住まいの地域を担当する市町の基幹相談支援センター など

ヤングケアラーに関する相談先

市町相談窓口

ひとりで抱え込まず、相談することが大切です。

ケアラー支援に関する相談先の詳細は、こちらのQRからご覧ください。



～令和7年3月発行～



ケアする人をひとりにさせない地域共生社会

全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく、安心して生活することができる地域社会の実現を目指して

令和5年4月
栃木県ケアラー支援条例施行

令和6年3月
栃木県ケアラー支援推進計画策定

印刷部数

約 420,000 枚

配布先

- 行政機関
- 福祉団体
- 教育機関
- 民間団体・民間企業
- 公共交通機関 など



サイト構成			掲載内容	全ページ画面右下に AIチャットボット(※1)が追従
1	2	3		
00 トップページ			普及啓発動画(※2)、ポスター、リーフレット	
01 ケアラーを知る				
		ケアラーとは	ケアラー、ヤングケアラーの定義	
		数字で見るケアラー	栃木県政世論調査、ケアラー実態調査等の結果数値	
		直面する課題	直面している課題	
		経験談	ケアラーとしての経験談	
02 ケアラーの方へ				
		相談までのステップ	相談までのSTEP	
		相談窓口のご案内	市町相談窓口及び支援機関窓口一覧	
		ケアラーのためのお役立ち情報	ケアラー手帳、ケアラー同士が交流できる場の紹介	
03 自治体・支援団体・教育関係者の方へ			ケアラー支援ガイドラインを掲載	
04 イベント情報等のお知らせ			ケアラー支援に関するイベント情報	
05 ケアラー支援にあたってのQ&A			ケアラー向け及び支援機関向けのQ&A	

※1 AIチャットボットでは、ケアラーやケアラーを支援する方に向けて、簡易な相談への応答や相談窓口の案内を24時間体制で行う。

※2 普及啓発動画は、栃木県在住者をターゲットにYouTube動画広告配信を実施

TOPページ



TOPページ

ケアラーとは

数字で見るケアラー

直面する課題

経験談

相談までのステップ

相談窓口のご案内

ケアラーのためのお役立ち情報

自治体・支援団体・教育関係者の方へ

イベント情報等のお知らせ

ケアラー支援にあたってのFAQ

全ページ画面右下に
AIチャットボットが追従

栃木県ケアラー支援特設サイト

とちけあ
tochi-care

[TOP](#) →

[ケアラーを知る](#) →

[ケアラーの方へ](#) →

[自治体・支援団体・
教育関係者の方へ](#) →

[お知らせ](#) →

[よくある質問](#) →

ABOUT.02

数字で見るケアラー

ケアラーということばの認知度



令和6(2024)年度栃木県政世論調査の結果によると、ケアラーという言葉について「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した人の割合は約45%でした。

ヤングケアラーということばの認知度



令和4(2022)年度栃木県ヤングケアラー実態調査の結果によると、ヤングケアラーという言葉について「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した人の割合は約30%でした。

栃木県内でのケアラーの総数



県内の15歳以上人口のうち「介護をしている」人数は9万800人と推計されています。

このうち、仕事をしながら家族等の介護に従事するビジネスケアラーは4万1400人と推計されています。

出典：令和4年就業構造基本調査結果(総務省統計局)

[TOPページ](#)

[ケアラーとは](#)

[数字で見るケアラー](#)

[直面する課題](#)

[経験談](#)

[相談までのステップ](#)

[相談窓口のご案内](#)

[ケアラーのためのお役立ち情報](#)

[自治体・支援団体・教育関係者の方へ](#)

[イベント情報等のお知らせ](#)

[ケアラー支援にあたってのFAQ](#)

栃木県ケアラー支援特設サイト

とちけあ
tochi-care

TOP →

ケアラーを知る →

ケアラーの方へ →

自治体・支援団体・
教育関係者の方へ →



お知らせ →

よくある質問 →

CARER.02

相談窓口のご案内

すべて 全般 高齢 障がい 難病 医療的
ケア児

 相談支援機関一覧 

宇都宮市

那須塩原市

日光市

那珂川町

下野市

栃木市

⋮

TOPページ

ケアラーとは

数字で見るケアラー

直面する課題

経験談

相談までのステップ

相談窓口のご案内

ケアラーのためのお役立ち情報

自治体・支援団体・教育関係者の方へ

イベント情報等のお知らせ

ケアラー支援にあたってのFAQ

栃木県ケアラー支援特設サイト

とちけあ
tochi-care

TOP →

ケアラーを知る →

ケアラーの方へ →

自治体・支援団体・
教育関係者の方へ →

お知らせ →

よくある質問 →

CARER.03

ケアラーお役立ち情報

ケアラー手帳の活用 ↓

ケアラー同士が交流できる場 ↓

ケアラー手帳の活用

ケアラーの皆さんがご自身をいたわりながら、自分らしく豊かな毎日を送ることができることを願って、栃木県版ケアラー手帳を作成しています。



手帳は、日本ケアラー連盟発刊の「ケアラー手帳」を栃木県版にカスタマイズしたもので、ケアラーの介護体験事例、ケアラー自身の健康チェックリスト、相談窓口などが記載されています。ぜひご活用ください。

●お問い合わせ先: 栃木県保健福祉部保健福祉課
TEL: 028-623-3047

ケアラー同士が交流できる場

家族介護者の交流

認知症カフェ

患者・家族交流会
(サロン)

疾患グループ別交流会

こども食堂

TOPページ

ケアラーとは

数字で見るケアラー

直面する課題

経験談

相談までのステップ

相談窓口のご案内

ケアラーのためのお役立ち情報

自治体・支援団体・教育関係者の方へ

イベント情報等のお知らせ

ケアラー支援にあたってのFAQ

AIチャットボット

簡易な質問・相談への応答 + 相談窓口の案内

質問・相談

自動応答受付中



サポートAI

【ケアラー支援AIチャットボットご利用案内】

家族や身近な人のケアでお悩みの方への支援ツールの一つとして、AIチャットボット機能による相談支援体制を整備しました。

ケアラー支援に関する以下のサポートを24時間体制で提供していますので、お気軽にご質問やお悩みごとを入力ください。

- ・ケアラー支援に関するご質問・お悩みごとへの回答や一般的な情報提供
- ・相談支援窓口の案内

問題解決に至らない場合や個別具体事案のご相談については、本サイトに直接の相談支援窓口の掲載もございますので、ご相談ください。

※個人情報保護のため、氏名や連絡先などは入力しないでください。

14:08

ご利用案内

家族の介護でストレスを感じた場合、どのような対処法がありますか？

送信

質問やお悩みごとの入力欄

応答・案内

自動応答受付中



家族の介護でストレスを感じた場合、どのような対処法がありますか？

14:25

サポートAI

家族の介護でストレスを感じた場合、以下のような対処法があります。

1. ストレス発散法：深呼吸、仮眠をとる、好きな音楽を聴く、外の空気を吸う、好きな香りを楽しむ、好きな飲み物を飲むなどがあります。
2. 家族介護の心得：誰かに相談する、職場に事情を伝える、みんなで協力し合う、認知症ケアのスキルを学ぶなどがあります。
3. 介護サービスの活用：介護負担を軽減するには一人で頑張りすぎないことや、介護サービスの活用が重要です。訪問介護やデイサービス、ショートステイなどの利用でレスパイト（介護する方の息抜き）につながります。

➤ 相談窓口を案内(開発中)

※AIにより自動生成した回答文です

14:25

AI回答生成

サポートAI

この回答で問題は解決しましたか？

解決した

解決しなかった

利用者評価

14:25

ここにメッセージを入力してください

送信

TOPページ

ケアラーとは

数字で見るケアラー

直面する課題

経験談

相談までのステップ

相談窓口のご案内

ケアラーのためのお役立ち情報

自治体・支援団体・教育関係者の方へ

イベント情報等のお知らせ

ケアラー支援にあたってのFAQ

画面右下に追従



ケアラー支援知識向上研修事業の実施状況

①普及啓発 ②相談・支援体制の充実
③関係機関の連携強化 ④人材育成

- 地域包括支援センター職員等を対象に、高齢者世代以外のケアラーのニーズや、他分野の 関係機関等との連携手法等について学ぶことができる研修を実施し、地域包括支援センターの相談機能の強化・充実を図ることができた。



研修の様子(前半)



研修テキスト(前期)

実施日…前半：令和6(2024)年8月22,23日
後半：令和7(2025)年2月25,26日

受講者数…87名

○ 研修プログラムの構成

前半

政策やケアラー
支援の視点
(講義と個人ワーク)

全国の支援事
例紹介

ケアラー支援に
関する意見交
換(グループワーク)

振り返り
(個人ワーク)

後半

前期研修振り
返りや連携型
ケアラー支援の
視点
(講義と個人ワーク)

連携を活かした
全国の支援事
例紹介

連携型ケアラー
支援に関する
意見交換
(グループワーク)

振り返り
(個人ワーク)

医療的ケア児等在宅レスパイト事業

在宅で医療的ケアを受けている20歳未満の方を**介護する方が休養するための**、ご自宅での**訪問看護ステーションの利用**を支援します。

たとえば…



リフレッシュ



受診・検診



理容・美容



買い物



授業参観



自治会活動

概要

介護者の休養を目的とした訪問看護ステーションによる訪問看護の利用について、年間48時間まで県が費用を負担します。

(訪問看護ステーションの実費やキャンセル料等は自己負担)

対象者

以下の**すべて**を満たす栃木県に住所を有する方

- 20歳未満
- 住所は宇都宮市以外
(宇都宮市在住の方は子ども発達センター 028-647-4721 へお問合せください。)
- 同居の家族が介護
- 医師の訪問看護指示書による医療的ケアを必要としている
- 訪問看護により医療的ケアを受けている

※医療的ケアを受けている方が**20歳以上**の難病患者である場合は「難病患者在宅レスパイト事業」をご覧ください。



医療的ケア児等
在宅レスパイト事業



難病患者
在宅レスパイト事業

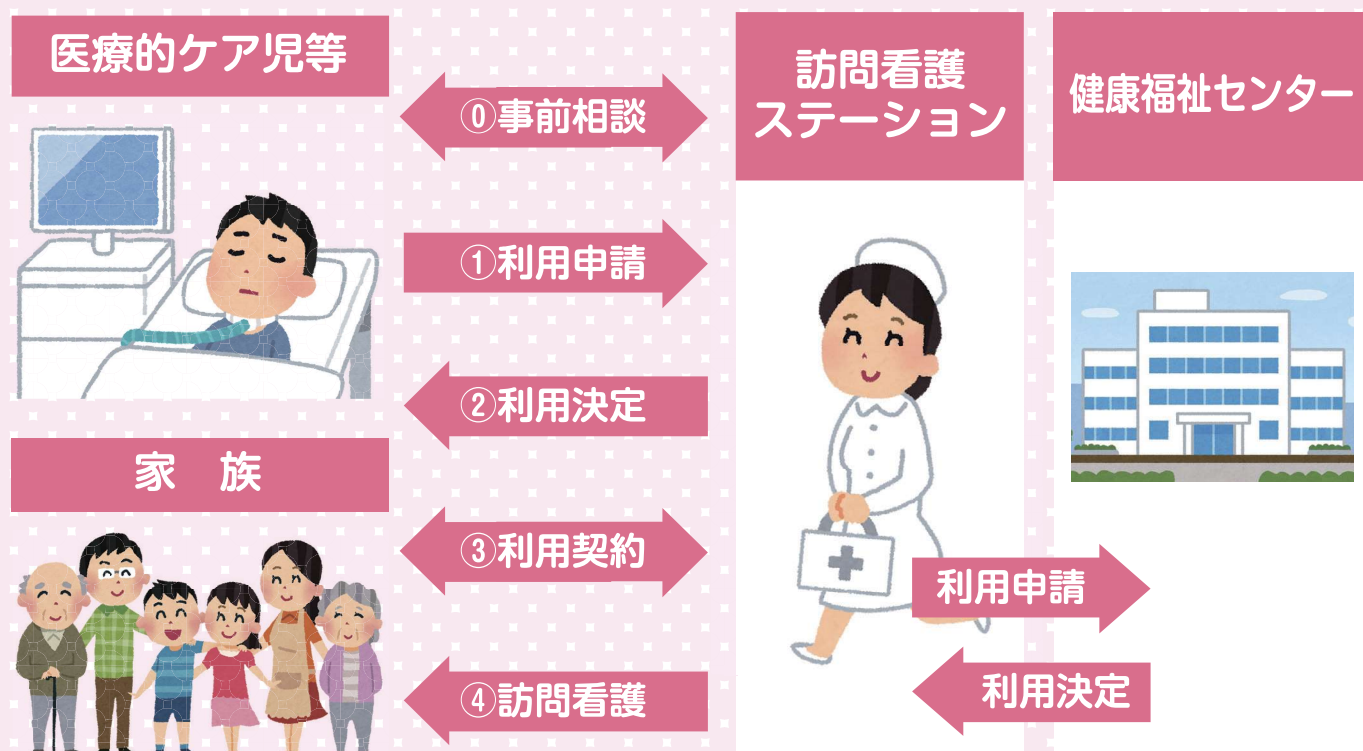
《ご利用方法など、お気軽にお問い合わせください》

お問い合わせ先 電話番号

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ・ 県西健康福祉センター | 0289-62-6225 | ・ 今市健康福祉センター | 0288-21-1066 |
| ・ 県東健康福祉センター | 0285-82-3323 | ・ 栃木健康福祉センター | 0282-22-4121 |
| ・ 県南健康福祉センター | 0285-22-1509 | ・ 矢板健康福祉センター | 0287-44-1297 |
| ・ 県北健康福祉センター | 0287-22-2679 | ・ 烏山健康福祉センター | 0287-82-2231 |
| ・ 安足健康福祉センター | 0284-41-5895 | | |

・ 栃木県保健福祉部健康増進課 028-623-3086

手続きの流れ



	手続きの内容
①	家族は事業の利用について、訪問看護ステーションと <u>事前相談</u> します。
①	訪問看護ステーションから連絡があったら、家族は訪問看護ステーションへ利用申請書を提出します。
②	訪問看護ステーションから家族へ利用決定通知が送付されます。
③	家族と訪問看護ステーションは訪問看護提供日を <u>調整</u> の上、利用契約を締結します。
④	訪問看護ステーションが医療的ケア児等に訪問看護を提供します。

※1日あたりの利用時間については訪問看護ステーションとご相談ください。

心のサポーター養成研修@とちぎ

誰もがこころの不調を経験する時代。

手を止めて、相手にそっと寄り添い、心の負担を軽くする。

そんなちょっとしたコツやご自身の心のケアのコツを学んでみませんか。



回	開催日時	申込締切	共通研修	選択研修	講師
1	11月5日(火) 19時~21時	11月4日(月)	●心のサポーターの紹介	こころの病気について学ぶ	日本精神科看護協会栃木県支部 事務局長 鈴木 太 氏
2	11月19日(火) 14時~16時	11月12日(火)	●こころの病気の実際	ストレスコーピングでセルフケア	栃木県精神保健福祉士協会 会長 稲見 聡 氏
3	12月1日(日) 10時~12時	11月24日(日)	●こころの病気からの回復	こころの病気について学ぶ	日本精神科看護協会栃木県支部 事務局長 鈴木 太 氏
4	12月17日(火) 14時~16時	12月10日(火)	●こころをサポートする方法	ストレスコーピングでセルフケア	福祉コラボちむくぐる とちぎステップ家族相談室室長 渡邊 厚司 氏
5	1月11日(土) 10時~12時	1月4日(土)		こころの病気について学ぶ	日本精神科看護協会栃木県支部 事務局長 鈴木 太 氏
6	1月28日(火) 10時~12時	1月28日(火)		ストレスコーピングでセルフケア	栃木県精神保健福祉士協会 会長 稲見 聡 氏
7	2月11日(火) 14時~16時	2月4日(火)		こころの病気について学ぶ	福祉コラボちむくぐる とちぎステップ家族相談室室長 渡邊 厚司 氏
8	2月18日(火) 19時~21時	2月11日(火)		こころの病気について学ぶ	日本精神科看護協会栃木県支部 事務局長 鈴木 太 氏
9	3月2日(日) 10時~12時	2月23日(日)		ストレスコーピングでセルフケア	日本精神科看護協会栃木県支部 事務局長 鈴木 太 氏
10	3月18日(火) 14時~16時	3月11日(火)		ストレスコーピングでセルフケア	栃木県精神保健福祉士協会 会長 稲見 聡 氏

※お申し込みは上記 10 回の中から希望する回を 1 つ選んでください。(10 回 1 コースではありません。)

※各回定員 80 名

※研修会受講者には後日申込メールアドレス宛に認定証が送付されます。

※開催日の 3 日前までに電子メールにて Zoom のアカウントを送付いたします。

詳細や申込み方法については
裏面をご覧ください。



詳細・申込方法等について

開催方法：オンライン（Zoom）

対象：県内在住、在勤、在学の方（子どもから大人まで）

参加費：無料

申込先：<https://form.run/@booska--jtH6egkB15IZKYmpn8Ds>

問合せ先：一般社団法人日本精神科看護協会栃木県支部

鈴木宛（TEL 090-7805-5643）

栃木県保健福祉部障害福祉課精神保健福祉担当（TEL 028-623-3093）

※お問い合わせの際には、「心のサポーター養成研修の件」とお伝えください。

【主催】栃木県

【実施】一般社団法人日本精神科看護協会 栃木県支部



↑こちらのQR

コードからも申込可

講師紹介

福祉コラボちむぐる とちぎステップ家族相談室 室長 渡邊 厚司 氏



【講師プロフィール】

精神保健福祉士・社会福祉士・作業療法士、相談支援専門員、修士（福祉心理学・東北福祉大学）。

1989年 栃木県入職後、栃木県立岡本台病院などの精神科医療機関、医療福祉専門職の養成教育機関などを経て、現在、一般社団法人福祉コラボちむぐる とちぎステップ家族相談室室長。

他、栃木県精神保健福祉センター、栃木県中央児童相談所、栃木県県北児童相談所、法務省喜連川社会復帰促進センター等でも非常勤専門職としてメンタルヘルスの臨床に従事し続けています。

栃木県精神保健福祉士協会 会長 稲見 聡 氏



【講師プロフィール】

精神保健福祉士・社会福祉士・准看護師・公認心理師。

1990年 医療福祉法人報徳会宇都宮病院に入職し、相談支援業務に従事。グループホームの世話人・サービス管理責任者の経験を経て、現在、同病院の総合支援課長。

現在は一般社団法人栃木県精神保健福祉士協会会長 兼 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 栃木県支部長就任。

他、栃木県自殺対策連絡協議会、栃木県自立支援協議会、栃木県災害福祉広域支援協議会の委員を担っています。

日本精神科看護協会栃木県支部 事務局長 鈴木 太 氏



【講師プロフィール】

精神科看護師。

1981年 医療福祉法人誠之会氏家病院に入職し、看護業務に従事。

病棟師長、看護部長の経験を経て、現在、一般社団法人癒しの風訪問看護ステーション所長。

日本精神科看護協会栃木県支部長を経て、現在は同協会栃木県支部事務局長。

他、さくら市民活動支援センターなどで活動中。

R6（2024）年度

発達障害ピアサポーター養成研修

発達障害のある方のご家族同士が話し合う場において、同様の立場の経験者として、互いの体験を分かち合いながら話を聴いて必要な情報を提供したり、障害についての理解を広げる活動をしていただくピアサポーターの養成研修を開催します。

対 象

以下の要件を全て満たす方が対象です。

- ①発達障害児者との生活経験を有する者。
- ②社会福祉施設等要覧に掲載されている発達障害関係団体及びそれに準ずる関係団体から推薦があること（ただし、自己推薦は除く。）。
- ③下記日程の研修をすべて受講できること。
- ④栃木県内にてピアサポーターとして研修や派遣事業（※）への参加ができること。

ピアサポートとは・・・

同じような立場や状況、経験等をもつ人同士（ピア）の支え合いを意味しています。



内 容

回	日時	テーマ及び講師	会場
第1回	9月3日（火） 10:00～15:00 （受付9:45～）	「栃木県の施策説明」 講師：栃木県障害福祉課 「傾聴とは（仮題）」 講師：栃木県カウンセリング協会 「支援者のメンタルヘルス」 講師：こども発達支援センターさのかりん 施設長 藤原 雄一 氏	栃木県立リハビリテーションセンター 3階 大会議室 住所：宇都宮市駒生町 3337-1 ※午前の部は、「高次脳機能障害事業」と合同開催となります。
	10月8日（火） 10:00～15:00 （受付9:45～）	「地域資源との連携（仮題）」 講師：相談支援センターひかり 相談支援専門員 渡邊 太樹 氏 「発達障害の理解と家族の対応」 講師：柳川小児科医院 副院長 こだわりっこの会 代表 柳川 悦子 氏	栃木県立リハビリテーションセンター 3階 大会議室 住所：宇都宮市駒生町 3337-1 ※午後の部は、「発達障害家族教室」と合同開催となります。
	オンライン 9月24日（火）～ 10月29日（火）	「きょうだい支援（仮題）」 講師：きょうだい会SHAMS 代表 滝島 真優 氏 「ペアレント・プログラムについて」 講師：発達障害者支援地域支援 マネージャー（調整中）	配信期間中、いつでも何度でも視聴可能。 <u>受講後アンケートへの回答</u> をもって、受講確認とさせていただきます。

※状況に応じてフォローアップ研修を開催します（※R7.2～3月 開催予定）。

派遣事業

研修受講修了者の方には、派遣依頼に応じて、①家族が集まる茶話会、②市町や障害福祉サービス事業所が主催する研修会、③発達障害者支援センターふおーゆうが開催する家族教室等の場において、ピアサポーターとして活動いただく場合があります。

その他

- ・このピアサポーター養成研修は、家族の方を対象としています。
- ・養成講座の中で、特定の方のご相談をうかがうことはできません。ご相談を希望される方は、発達障害者支援センターふおーゆうにご相談ください。
- ・ピアサポーターとして活動する際には、特定の治療法、代替療法、健康食品の推奨や、特定の政治団体、宗教団体の支持などを行わないでください。

お申込み方法：所属されている関係団体の長に御連絡ください。 **締切り：**令和6年8月20日（火）



主催・問合せ先：栃木県障害者総合相談所（栃木県発達障害者支援センターふおーゆう）
栃木県宇都宮市駒生町 3337-1 TEL：028-623-6111



令和6年度「高次脳機能障害ピアサポーター養成講座」の受講者を募集します！

栃木県では、高次脳機能障害のある方のご家族同士が話し合う場において、同様の立場の経験者として、互いの体験を分かち合いながら話を聴いて必要な情報を提供したり、障害についての理解を広げる活動をしていただくピアサポーターの養成講座を開催します。



- ・ピア(peer):同じ立場や境遇、経験を持つ「仲間」を意味
- ・サポート(support):支える

ピアサポーターとは？

同じような経験があり、その経験を活かして同じ境遇にある仲間(今回は高次脳機能障害のある方を支える家族)をサポートする人のこと



受講対象者は？

以下の要件をすべて満たす方が対象です。

- ① 高次脳機能障害のある家族を介護した経験がある方(概ね1年以上)
- ② とちぎ高次脳機能障害友の会会員、または介護者として同じような立場の方の力になりたい、サポートしたい、とお考えの方
- ③ 指定された講座への参加が可能である方
- ④ 栃木県内にてピアサポーターとして活動ができる見込みがある方

講座内容・スケジュール

・このほか、動画視聴による受講を依頼予定です。

・ピアサポート活動後、R7.2～3月頃、フォローアップ研修の開催を予定しています。

	日 程	テーマ及び講師	会 場	備考
第1回	令和6年9月3日(火) 10:00～12:00 (受付:9:45～)	「栃木県の施策説明」 講師:栃木県障害福祉課職員	栃木県立リハビリテーションセンター 3階 大会議室 (住所:宇都宮市駒生町3337-1)	午前の部は発達障害の事業と合同開催
		「傾聴とは」(仮題) 講師:栃木県カウンセリング協会		
	令和6年9月3日(火) 13:30～15:00	「高次脳機能障害の生活支援について～駒生園での取組、事例から考えよう～」(仮題) 講師:栃木県立リハビリテーションセンター駒生園 作業療法士 加藤 由里 氏	とちぎ健康の森 2階 小会議室 (住所:宇都宮市駒生町3337-1)	関係機関の職員が参加する場合があります。
第2回	令和6年10月30日(水) 11:00～15:00 (受付:10:45～) *昼休憩含む	「高次脳機能障害とピアサポート」 「ピアサポーターのこころとそのケア」(仮題) 講師:栃内第二病院リハビリテーション部副部長 公認心理師 山館 圭子 氏	とちぎ福祉プラザ 2階 第1研修室 (住所:宇都宮市若草1-10-6)	

ピアサポート活動・派遣事業

受講修了者の方には、派遣依頼に応じて、福祉サービス事業所や病院、栃木県障害者総合相談所が開催する家族教室等の場において、ピアサポーターとして活動いただく場合があります。

その他

- ・このピアサポーター養成講座は、家族介護者の方を対象としています。
- ・養成講座の中で、特定の方のご相談をうかがうことはできません。ご自身の相談を希望される方は、栃木県障害者総合相談所にご相談ください。
- ・ピアサポーターとして活動する際には、特定の治療法、代替療法、健康食品の推奨や、特定の政治団体、宗教団体の支持等の行為はお断りいたします。

申込み・問合せ先

申込みは電話で受け付けます。 **締切り:令和6年8月20日(火)**

栃木県障害者総合相談所 発達・高次脳機能障害支援課
☎028-623-6114 (受付時間:平日8:30～17:15)



ヤングケアラー支援に係る取組状況

関係機関の支援

関係機関を対象とした研修の実施

- 市町職員、福祉関係事業所等を対象とした研修
 - ・令和7年2月14日（金）実施
 - ・内容『ヤングケアラーから「家庭まろごと支援」を考える』（講師：一般社団法人ヤングケアラー協会 星野 桃代 氏）等
- 教職員、SSW等を対象とした研修：7回実施
- ケアマネジャー事業所、学校への出前研修等：6回実施

県ヤングケアラー・コーディネーターの配置

- こども政策課に1名配置し、市町・地域における取組を支援
- 市町ヤングケアラーコーディネーター（宇都宮市・足利市・栃木市・佐野市）との意見交換会
 - ・令和6年10月22日（火）実施

具体的支援の推進

SSW（スクールソーシャルワーカー）の拡充

- 配置数の増（R5:41名→R6:42名）
- 県立学校4校（県央東・県央西・県南・県北）への配置による周辺校への支援の拡充

ヤングケアラー等家庭への家事・育児支援（ヘルパー派遣）

- ヤングケアラーを含む、困難を抱える家庭への家事・育児支援等
- 今年度、16市町で実施

普及啓発

ヤングケアラー・フェスティバル2025の開催

- 令和7年2月24日（月・祝）宇都宮ライトキューブにて開催

啓発動画の活用

- 動画2本をYouTube配信
 - 中高生向け32,977回、おとな向け33,028回再生（2/17時点）
- 県内の各学校等で研修や授業に活用しやすいよう、映像データを配布



一緒に考えてみませんか？「ヤングケアラー」のこと。

栃木県ヤングケアラー啓発ムービー「今日もわたしたちは家に帰る」

- ▲栃木県ヤングケアラー啓発動画「今日もわたしたちは家に帰る」（令和6年3月7日公開）

※令和7年度新規事業

- ・LINE相談窓口の開設
 - LINEにより気軽に相談できる窓口等を整備し、必要な支援につなげるきっかけとする。
- ・サロンの設置
 - 当事者同士などがつながり・話し合う場の創設により、悩みや経験等の共有を通じて、孤立感の軽減を図る。